３　地球に影響を与える有害物質の根絶のために

（１）オゾン層を破壊するフロンガスの根絶に向けて

オゾン層破壊をストップさせるためには、オゾン層を破壊する有害物質フロンガスを減少させなくてはなりません。日本では、平成７年に、冷媒(れいばい)としてフロンガスを使用する冷蔵庫、エアコンやカーエアコンが生産中止になりました。また、平成 13 年には、4 種類の家電製品（冷蔵庫、テレビ、エアコン、洗濯機）についてリサイクルを必ず行うようにするという「家電リサイクル法」が施行されました。さらに、平成 14 年には車のリサイクルも義務づけられる「自動車リサイクル法」が成立したことで、カーエアコンのフロンの回収も行われるようになりました。

いらなくなったものをただ捨てるのではなく、自分たちの住む市や町の資源分別回収方法にしたがうことが大切です。

（２）生物に蓄積されるダイオキシンの根絶に向けて

生物に有害な物質の一つにダイオキシンがあります。大気中に出たダイオキシンは地上に落ちてきて土壌や水を汚染し、プランクトンや魚介類に食物連鎖を通して取り込まれ、私たち人間のような生き物にも蓄積されていくと考えられています。

ダイオキシンの主な発生源は、ごみ焼却による燃焼や自動車排出ガスなどです。ダイオキシンは、主として物を燃やすところから発生し、処理施設で取りきれなかった部分が大気中に出ていきます。

ダイオキシンの発生を減らすには、ごみの削減が一番です。そのためには、次の３つのＲを実行することが大切です。

☆Reduce(リデュース)　ごみになるものを減らしましょう。
☆Reuse (リユース)　　ものを再使用しましょう。
☆Recycle(リサイクル)　もう一度、資源として利用しましょう。

（３）地球温暖化を引き起こす二酸化炭素の削減に向けて

私たちは毎日、電気などの様々なエネルギーを使っています。そのエネルギーを作る時に二酸化炭素を発生し、二酸化炭素の増加が地球温暖化につながっています。

二酸化炭素の排出量 kgCO_2＝電気使用量×　二酸化炭素排出係数（0.463）で求められます。

※二酸化炭素排出係数とは、電気を１kWh 作るのに、どれだけ二酸化炭素を発生したかを示す値のこと

１カ月に 290kWh の電気を使用すると、
２９０×０．４６３＝１３４．２７kgCO_2
の二酸化炭素を排出することになります。

電気の節約が二酸化炭素の削減につながります。